

ものがたりシート

自分のものがたりをさいしよからさいてまで書きましよう。

タイトル

ゲータたちの大ぼうけん

赤松しえい

作

むかしむかし

ずたずたじまにゲータ

というゆうかんなりす

かいました。

ゲータはいつもずたずたじま

をでようと考ええてい

ました。

そこでしまを出る

たびにでるつとにしました。

ああ、よかった、よかったな

しまを出る道がなくてつまら

な。という、小さなふね

をつくりました。

そしてその小さなふねにの

て海に出ました。

ですが、いねが小さく

かるくてなみにのって

かえってきこえてしまいまし

た。

そしてつぎに一年間かけ

て仲間、というしよに丸太の

ふねをつくりました。

そのふねにのって海に

出ました。

ところが丸太をむすんで

いたつるが切れてしまつて

ふねがこわれてしまいま

ゲータはがなくなつてしまの

木材をとばしあつてい

ました。

すると青いおなべを

見つけました。

おなべは、おなべもあいていない

おもくもかるくもありませよ。

仲間のリサをよんできて

すなはままでおなべを

はこび海にうかべてみ

ました。するとおなべ

は、ちんとうがきました。

ゲータはおなべのふねに

のって海に出ました。

何日も何日もおねの

たひは、つづきました。

ある夜、おねは、何か大きな

ものに当たり、びっくりかえり

てしまいました。ゲータと

仲間たちは海になじ出され

てしまいました。当たった

おいては、大ダコです。

ゲータたちは、たまたま海

にうかんでいた丸太に

のって、おねをついていま

した。

朝になってゲータたち

が目をやめますと

丸太のまわりには

はいした魚たちがい

ました。そして、魚たち

は、丸太をぐいぐいお

してくれました。

ゲータたちは、どりついたの

は、たかからじまだったの

です。

ゲータは、魚たちに、

おれいのたからいまで見

つけた赤いみをおげま

した。

それからゲータたちは

たかからじまだったのこ

しおれせにくつしましたとさ

めでたしめでたし。